

医療安全と一緒に語る仲間に出会いたい！
医療安全の実践の力アップを目指したい！
医療安全を体系的・学問的に考えたい！
Webセミナーの開催方法を学びたい！



医療安全マスター養成プログラム Day1 Day2 募集案内

「学びほぐし」、しませんか
(2日間の講義収録を使って復習する機会もあります)

学びほぐしとは一度学んだ知識や価値観を意識的に捨て去り再び学び直すことをいいます

対象

医療安全に関する基礎を学んだ方

- ・職種は問いません。
- ・下記のいずれかの要件を満たす方を想定しています。
 - ① 医療安全部門の責任者もしくは専従者であること。
 - ② 医療安全対策加算に係る研修(通算40時間以上)を修了済みであること。
もしくは相当の知識と経験を有していること。

日程

9月25日(土)・26日(日)

[1日目] 9時30分～18時15分 [2日目] 8時55分～16時45分

会場

Web (ライブ配信)

: 日本医療機能評価機構

講師

(敬称略・五十音順)

荒井 俊行	(弁護士)
笥 淳夫	(工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授)
荒神 裕之	(山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授)
瀧本 禎之	(東京大学大学院医学系研究科 准教授)
田中 健次	(電気通信大学大学院情報システム学研究所 教授)
中島 和江	(独立行政法人労働者健康安全機構 理事)
橋本 迪生	(日本医療機能評価機構 常務理事)
長谷川 剛	(上尾中央総合病院 情報管理特任副院長)

定員

60名 〆切は8月20日ですが、定員に達しましたら期日前に〆切となります。



費用

- 病院機能評価認定病院、又は受審申込済みの病院にご所属の方 66,000円 (税込)
- 上記以外の医療機関にご所属の方 88,000円 (税込)
- 受講料の返金はありません。

申込

- ① 検索サイトで「医療安全マスター養成」を検索してください。オモテ面左上に記載されているQRコードからもアクセスいただけます。
- ② 病院機能評価事業ホームページ (<https://www.iq-hyouka.jcqh.or.jp/>)内の「教育研修>医療安全マスター養成」のタブをクリックします。
- ③ 「お申込みはこちら」ボタンをクリックし、詳細をご確認の上お申し込みください。



科目

【参加方法についてのご注意】

- ・ Zoomの環境設定資料は申込サイトにリンク先の案内をご確認ください。
- ・ 開催約1ヶ月前に事前課題の案内がありセミナー当日に提出していただきます。

Zoomミーティング使用しオンラインライブによる講義とグループワーク

講義ごとにディスカッションしながら学びを深めます

Day1 予防的安全管理

Day2 顕在化したリスクへの対応

オーガナイザー：長谷川 剛

	科目	講師 (敬称略)
2021/9/25 (土)	医療の安全とは	橋本 廸生
	医療メディエーションと価値共創	荒神 裕之
	法的観点から	荒井 俊行
	医療安全・患者安全に通底するもの	田中 健次
2021/9/26 (日)	施設・環境・設備のマネジメント	筧 淳夫
	臨床倫理の観点から	瀧本 禎之
	医療チームや組織等へのレジリエンスの実装	中島 和江

研修の特徴 ～先輩の声から～

1. 講師や受講生との対話を大事にしています



組織の規模や地域、立場によっても活動内容や考え方が大きく違うことを感じました。それぞれの立場からの講義内容に対しての意見交換をすることで自分自身の活動に役立つヒントをたくさんもらえました。

👉 理解を深め多様な視点から考えていただけるよう、講義だけではなく**対話**の時間も数多く設けています

2. 医療安全に役立つ専門的で最新の知見を学べます



専門的な講義を受講し大いに刺激を受けました。今まで何となく「改善しなくては」と考えていながらも取り掛かりに悩んでいたのですが、研修を通じて実践の場で取り組むヒントを沢山いただくことができました。講義は超専門的であるのに、即実践に活かすことができ、私にとっては全く新しい体験です。

👉 **レジリエンス**や**医療メディエーション**といった、理解しておきたい重要な理論や考え方を学べます

3. 日常で直面しがちな課題へのアプローチが変わります



倫理的な視点で事例を見るようになりました。院内のラウンドも以前より努めていくようになり、上司だけではなくスタッフの意見にも耳を傾けるようになりました。

👉 日常の業務で直面しがちな**倫理的課題**や**法的課題**を紐解くための基礎的なポイントを学べます

4. これからの医療安全に必要な学びが見えてきます



倫理学と心理学の本を読み始めました。また、院内でのダブルチェックの見直しに向けて、チームで勉強会を行いました。

記録については「裁判や開示に耐えうる記録を」と言い続けてきましたが、この言葉ではなかなか理解してもらうことができていません。講義で学んだ「法的な視点から求められる記録」について、スタッフが理解できる言葉で教育を考えていきたいです。

👉 抽象的な概念も具体的な事例を通して学んでいきます
実践のイメージがつき、**今後の学びの方向性**が見えてきます

5. Webセミナーについて



初めてWebセミナーに参加しました。想像していたより快適に参加させていただくことができました。講義を聞きながらPC上にメモを取ることで学びの整理ができ、時間を有効に使えました😊

初めてのWebセミナーでドキドキしましたが、事務局のサポートとグループの皆様引っ張っていただき、2日間を終えることができました😊

